

（宛先）新潟市長

所在地 新潟市北区島見町2069-1

団体名 南浜地区コミュニティ協議会

代表者名 神田 悟

実績報告書

令和6年3月14日付け新北地総 第1092号で交付決定のあった下記提案事業について、新潟市まちづくりパートナーシップ事業補助金交付要綱第21条の規定により、関係書類を添えて次のとおり実績を報告します。

記

市の課題（テーマ）	提出した部署名	南浜地区コミュニティ協議会
	課題・テーマ名	水辺の魅力や特徴を活かした観光振興
提案事業の名称	うみもりあす南浜 「海辺の森との共助」	
課題解決するまでの 事業全体の 実施予定期間	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで	
交付決定額	交付決定額 1,500,000 円	
事業実施内容	<p>1. はじめに 南浜地区には海辺の森を中心とした海、浜辺、森があり、この活用について「健康」スポーツ、「楽しむ」イベントの2事業を、事業計画に基づいて取り組んできました。 尚、「楽しむ」イベントについては、特定非営利法人森の会（海辺の森指定管理者）に委託しています。</p> <p>2. 事業内容</p> <p>2-1. 「健康」スポーツ：</p> <p>① 準備委員会の設置（仮称）と月1回の開催 うみもりあす南浜事務局を設立し、規定および事務局職員の業務規程を作成しました。また、実行委員会を設立し、月1回開催すること決定しました。</p> <p>② 事業実施計画書の策定</p>	

	<p>北区まちづくりパートナーシップ事業計画書に基づき、事務局で事業計画を策定し、実行委員会の議題として取り組んでいます。マラソン大会開催検討事項を作成し、実行委員会で議題として取り上げています。まだ全ての事項について検討していませんので、引き続き策定して、検討事項決定項目として、取り纏めしていきます。</p> <p>③ 事業に必要な資機材購入 今年度、事業に必要な資機材購入を購入しました。 (添付書類：収支決算書 参照)</p> <p>④ ウオーキング、ジョギングコースの設定・整備 ウオーキング、ジョギングコースは海辺の森の歩道、道路を現地調査し、距離を測定しイラストマップを作成しました。コースにふさわしいかどうか、実行委員会で検討し決定しました。ウオーキングコースは4モデルコース、ジョギングコースは1モデルコースを設定しました。 各コースの整備はコースを再調査し、整備の必要箇所は関係者と協議していきます。</p> <p>⑤ マラソンコースの設定・整備 海辺の森など現地調査し、2km、4km、10kmコースをイラストマップで案を作成しました。各コースについて関係者と協議してきました。その内10kmコースについては1業者より不許可の回答があり、コースの再検討が必要になりました。今年度中に再案を決定し、来年度には決定したいと思います。決定次第、コースを試走し、整備の必要性について検討していきます。</p> <p>⑥ ウオーキング、ジョギング、マラソンコースの広報活動 各コースを広報するため、うみもりあす南浜のロゴ、イメージキャラクターを作成しました。また、広報、参加者募集などに使用するホームページを作成しました。これらを使用して、多くの人にうみもりあす南浜を知っていただけるよう、広報活動に努めていきます。</p> <p>2-2. 「楽しむ」 イベント イベント事業は森の会に委託しています。今年度については中間報告、今年度事業実施状況に関し、報告を受けています。今年度の実績報告は別紙「北区まちづくりパートナーシップ事業実施報告書」のとおりです。</p>
添付書類	

令和6年度 実施状況報告

健康:スポーツ

1. 令和6年度活動報告

(1) 事務局

(事務)

3月14日 北区まちづくりパートナーシップ事業
うみもりあす南浜 「海辺の森との共助」――> 採用
4月1日 うみもりあす南浜事務局設立
4月1日 うみもりあす南浜規約作成 事務局員の業務規程作成
4月1日 補助金交付申請、補助金概算払申請
7月19日 ロゴ(キャラクター)作成
11月20日 イラストマップ作成

6月18日 印鑑作製

8月19日 口座開設(第四北越銀行)

1月7日 ウォーキングコース 現地調査及び距離計測

1月7日 ジョギングコース 現地調査及び距離計測

1月7日 マラソンコース 現地調査及び距離計測

10月16日 マラソン大会開催検討事項作成

4月11日 うみもりあす南浜実行委員メンバー推薦要請

7月15日 うみもりあす南浜実行委員名簿作成

(海辺の森)

4月11日 森の会 受委託契約書作成

12月11日 海辺の森打合せ

(渉外)

12月3日 北区地域総務課・産業振興課打合せ

12月11日 北区地域総務課・産業振興課打合せ

1月14日 北区建設課打合せ

1月29日 北区地域総務課・産業振興課打合せ

中間報告

12月23日 新潟北警察署打合せ

2月5日 新潟港湾事務所東港分所打合せ

2月12日 三菱ガス化学新潟工場打合せ

3月5日 道路不許可との連絡あり

3月4日 新潟市南浜漁協組合打合せ

(2) 事業

(決定事項) 10月18日 ウォーキングモデルコース設定
10月18日 ジョギングモデルコース設定
11月22日 マラソン大会コース設定

(実行委員会) 8月23日 第一回実行委員会開催
9月27日 第二回実行委員会開催
10月18日 第三回実行委員会開催
11月22日 第四回実行委員会開催
2月21日 第五回実行委員会開催

うみもりあす南浜マラソン大会の決定事項

うみもりあす南浜実行委員会

大会名称	うみもりあす南浜マラソン大会	
開催月日	令和8年10月18日	9:00スタート
コース	10km	15歳以上
	4km	中学生以下、高齢者(65歳以上)
	2km	小学生 伴走可
種別	10km	男女一般・高齢者
	4km	男女・高齢者
	2km	男女
開始・終点	スタート地点	南浜小型船だまり
	フィニッシュ地点	南浜小型船だまり
想定参加者	10km	200人
	4km	50人
	2km	30人
	スタート順	2km--->10km--->4km
募集	募集範囲	新潟市在住者及び新潟市勤務者
	募集方法	チラシ及びホームページ
	参加費	3000円 ただし、中学生以下は1500円
	賞(種別)	1位、2位、3位、参加賞
時間測定	ICチップ着装	ICチップ使用 ただし、2kmなし
	時間制限設定	検討中
会場体制	配置図	トイレ:男性用 2基 女性用 2基
		テント:受付 本部 1張 受付 1張
		更衣室 男性用 1張 女性用 1張
	ゼッケン配布	受付時に配布する
	開会式	実施:挨拶 コミ協会長 閉会式は行わない

	表彰式	1～3位 全員完走しないうちに実施
	記録証	当日かHPで実施検討する
連絡体制	通常連絡	トランシーバーかスマホか実テストして決定
	コース内連絡	トランシーバーかスマホか実テストして決定

警備体制	交通規制、誘導	周知方法（看板など）、届出・許可
救護体制		
駐車場		
給水場	給水箇所	
休止判断	判断条件	周知広報、参加費返却有無

北区まちづくりパートナーシップ事業 実施報告書

特定非営利活動法人森の会（委託）
南浜地区コミュニティ協議会

1. 概要

うみもりあす南浜「海辺の森との共助」をテーマとして、新潟市北区の海と浜辺、海辺の森（森）を活用し、多様な体験型イベントを実施しました。本報告書では、各イベントの実施状況、成果、および課題について記載します。

1. 浜（ハマベノバ）

A) 夕日ツアー

【夕日ツアー等】

実施内容: SUP、サーフボード、シーカヤックを用いた夕日ツアーを計画。

成果: 天候不良と高波であったため、実施不可。（7/27,9/28）

課題: 天候に左右されるため、来年度以降、時機を見て開催について検討していく。

【3/2 テントサウナイベント】

実施内容: 島見浜海水浴場を利活用したテントサウナイベントを計画。

成果: 天候不良であったが、開催規模を縮小して開催。

場所はキャンプ場とし 10 名程参加。

課題: 天候に左右されるため、来年度以降、時機を見て開催について検討していく。



B) サーフィン体験レッスン

実施内容: 初心者向けのサーフィンレッスンを計画。

成果: 産業振興課の社会実験により実施。(7/27,9/28)

課題: 次年度以降はパートナーシップ事業としての実施を検討していく。



C) 新鮮BBQ イベント

実施内容: 南浜漁協の新鮮な魚介類を使用したBBQを計画。

成果: 双方検討中のため、今年度は実施せず。

課題: 現在、南浜漁協と検討中。来年度より魚介類を仕入、BBQ協会会長とも協議した上で実施予定。

D) 砂浜での乗馬体験

実施内容: 砂浜での乗馬体験を計画。

成果: 産業振興課の社会実験により実施。(7/27)

課題: 次年度以降はパートナーシップ事業としての実施を検討していく。



E) 音楽イベント

【9/28 社会実験】

実施内容: サステナブルな楽器等を用いた音楽イベントを計画。

成果: 新潟市北区の社会実験により実施。(9/28)

課題: 次年度以降はパートナーシップ事業としての実施を検討していく。



実施内容: サステナブルな楽器等を用いた音楽イベントを計画。

【2/23 アート制作】 ※クラフト体験と同様

実施内容: 音響機材を使用しながらアート制作を開催。

成果: 音響機器を使用しながらアート制作を実施し、20名が来場。



課題:次年度以降も開催を検討していく。

2. 森（モリノバ）

F) オリジナルピザ提供

実施内容: 石窯を子どもたちと制作し、石窯ピザを提供。（5/19,6/29,6/30,9/21）就労支援事業所あおぞらのピザ生地を活用。計 50 名。

成果: 5/19 石窯の制作ワークショップ（タイル張り）は、窯焼きピザ CALDO 古川氏を講師に実施し、NHK ニュースに取り上げられた。海辺の森キッズラボでは、活動の最後に親子でピザを食べ、親睦を深められた。石窯ピザはそれぞれのイベントで大変好評であった。



課題: 石窯の維持管理が必要。石窯を活用した事業を今後も検討。

G) 乗馬体験

実施内容: 森の遊歩道での乗馬体験を計画。

成果: 馬とのふれあい体験の名目で、産業振興課の社会実験で実施。
（講師：WALK 明星泰隆氏）（7/27,9/28）



課題: 次年度以降はパートナーシップ事業としての実施を検討していく。また、生体であるため、講師とのすり合わせが今後必要となるため、併せて検討していく。

H) ふれあい乗馬体験

実施内容: G) と同様。

成果: G) と同様。

課題: G) と同様。



I) クラフト教室

【海辺の森キッズ自然 LAB】

実施内容: 海辺の森の木質資源を活用したクラフト教室を、海辺の森キッズ自然 LAB として 2 回実施。合計 50 名。

(6/30,9/21)

成果: 6/30 陽光自治会、9/21 新潟市母子福祉連合会にクラフト体験を提供。自然環境教育と併せてクラフト体験の材料を海辺の森キャンプ場構内で採取し、思い思いのクラフト体験を実施。親子ともに大変好評であった。



課題: 次年度以降も要望があれば提供していく。

【2/23 アート制作】※音楽イベントと内容は同様となります。

J) ピアノ演奏会

実施内容: 森の場にピアノを設置し、アーティストによる演奏会を計画。

成果: ピアノの手配の調整がつかず、実施不可。

課題: 次年度以降、検討していく。

2. 結論

今回のイベントは、浜辺と森の魅力を活かし、地域住民および観光客に多様な体験を提供することができました。参加者の満足度は総じて高かった一方で、天候や広報活動、安全管理などの課題も明らかになりました。今後はこれらの課題を解決し、より良いイベント運営を目指していきます。